

しみず ひでゆき
清水 秀行

●連合・事務局長

新たな年を、確かな前進の年に

あけましておめでとうございます。

昨年10月の連合大会で事務局長に選出され、新たに労調協の理事となりました。よろしくお願いいたします。会員組織の皆さま方にとって、2022年が実り多き一年となりますことをご祈念申し上げます。

歴史と伝統、若い世代への継承

大学を出て、1983年に千葉県の公立学校（中学校）の国語科の教諭として奉職しました。その時に教えた教科書にも載っていた高浜虚子の俳句です。

春風や闘志いだきて丘に立つ

高浜虚子は、近代俳句を確立した明治の正岡子規の弟子で、子規の後継者とされましたが、その責任の重さもあって一時俳句から遠ざかり小説の執筆に専念します。そんな中、同じく子規の弟子でライバルであった河東碧梧桐が「新傾向俳句」を提唱して、子規の「客観写生」を否定した動きを見せます。虚子は、そうした動きに危機感を抱き、39歳で俳壇への復帰を決断します。子規の伝統的な俳句を守ることを決意して、その時に詠んだ俳句が「春風や闘志いだきて丘に立つ」です。私は2008年に19年間務めた教員を退職して日教組の三役に就くときに、この俳句を立候補の決意で紹介しました。千葉県教組に加入して6年目の日教組の連合加盟と組織分裂、あの経験をした私のような世代も、残りわずかになりました。先達が築かれた歴史と

伝統を守り、若い世代へ継承していくことの責任を労働組合の役員としてしっかり努めてまいりたいと思います。

「変わらないために変わり続ける」

新型コロナウイルス感染症の影響で、2年余りにわたり様々な組合活動が中止や延期、また縮小や形態変更などの制限がかかる中で取り組みとなりました。ただ、先が見えない今の時代、こういう時だからこそ「自由な発想」が生きるのだと思います。思い切って組合活動の企画を青年層の発想で考えてもらい、採用された企画を実現させるなど、創意工夫が各組織や地域で展開されたら面白いのではないのでしょうか。「組合活動のめざしているもの」、この原点を意識しながら、組織としてとことん議論し、「変わらないために変わり続ける」という取り組みを進めていくことが大事ではないか思います。

ジェンダー平等・多様性の推進

「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、連合運動でも重点とする「持続可能な開発目標（SDGs）」の1＜貧困をなくそう＞、4＜質の高い教育をみんなに＞、5＜ジェンダー平等を実現しよう＞、8＜働きがいも経済成長も＞、10＜人や国の不平等をなくそう＞、13＜気候変動に具体的な対策を＞、16＜平和と公正をすべての人に＞の取り組みに力を入れたいと思います。



去年は、「多様性と調和」「平和の祭典」が問われた、1年遅れてのオリンピック・パラリンピック東京2020大会が開催されました。開催そのものの是非など、さまざまな意見がありました。一人ひとりのアスリートの躍動や大会を支えたボランティアなどの活躍には、率直に感動し、敬意を抱きました。しかし、開閉会式に関し、障がい児へのいじめ・虐待などを批判された音楽家や、ホロコーストを揶揄するコントを制作した演出家が、なぜ起用されるのか。それは、過去の誤りだから許されるというのではなく、民族の大量虐殺や障害者差別を許し難い行為とする国際的な良識、人権尊重の意識が極めて低いということではないかと思えます。そこには、LGBTの婚姻や選択的夫婦別氏制度を認めない、国際的には通用しないそんな日本の姿に通ずるものがあると思えます。

あるテレビ番組で、子どもの「学校連携観戦」が話題となり、出演者の一人が「障害のある人と子どもたちが話す機会を設けてほしい」と発言しました。パラリンピック開幕の前日、兵庫県のミウラタケヒロさん、彼は16歳の少年で車いすに乗っています。そのタケヒロさんが投稿したツイートです。「障害のある人ってなに？小学生の頃、地域の小学校の校長に『君がうちの生徒と交流してくれたら、学ぶことがたくさんあるんだよ。触れ合いを大切にしたいのでぜひまた来てください』と言われて、誰と交流するかは自分で

決めるし僕は教材じゃないし触れ合い移動動物園じゃないです」。ハッとさせられた言葉でした。

ハート・トゥ・ハートの組合活動

新型コロナウイルスの感染拡大抑止とその収束を願うとともに、働く者や生活者の立場から、すべての仲間の力を結集して乗り越えていくことが必要です。連合は、中央・地方で、社会や経済、雇用に与えた深刻な影響に対して、労働組合としての社会的役割を果たしていかなければなりません。また、未来を見据えた労働運動の発展に尽くしたいと思えます。政治への関心を高め、平和・人権・環境・共生、そして私たちの命と生活を守るために、積極的に政治に参画していくことを多くの仲間に訴えていくことが求められます。

課題は山積しています。「組織強化・拡大」、「交渉力・発信力の強化」、「選挙をはじめとする政治の取り組み」…努力して結果が出ると自信となります。努力せずに結果が出ると偽りとなります。努力もせず結果も出ないと後悔が残ります。努力して結果が出なくても経験は残ります。すべての取り組みを結果につなげるために会員組織の皆さまをはじめ、連合の仲間の皆さま、地方連合会の皆さまのご支援、ご協力のもと、取り組んでまいりたいと思えます。

本年も、どうぞよろしくお願いたします。